

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
音楽Ⅱ	演習	1	井本 英子・加藤 理沙子・北山 幹子 的場 里美・李家 和馬
<p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <p><認知的領域(理解・思考)></p> <p>3. 保育者・教育者として、幅広い教養を身につけている。</p> <p><技能・活動的領域(技能・表現)></p> <p>5. 子どもの感性や個性を大切に育てるための保育に関する(音楽・造形・体育など)の実践力を身につけている。</p> <p>6. 子ども学ゼミや実習指導によって習得した技能を保育・教育の現場に用いることができる。</p>			
<p>【授業のテーマ及び到達目標】</p> <p>保育・幼児教育の中での音楽の目標及び指導内容を知り、保育現場に即応できる実践力を養い高める。</p> <p>① 保育要領・幼稚園教育要領の中での音楽の目標・内容を理解し応用できる。</p> <p>② ピアノ実技のレッスンを通してピアノの基礎技術を習得し、その技能を高めて演奏できる。</p> <p>③ 楽典の知識を深めて説明できる。</p> <p>④ ソルフエージュ(聴唱、聴奏、視唱、視奏等)の技能を高めて応用できる。</p> <p>⑤ 「音楽Ⅰ」の学習内容を継続し、発展させ、レパートリー曲を増やし保育・教育現場に対応できる。</p>			
<p>【授業の概要】</p> <p>保育・幼児教育の中での音楽の目的を理解し、ピアノ実技のレッスンをとおしてピアノの基礎技術と基礎的な音楽理論やソルフエージュを習得しその技能を高める。さらに保育者として音楽に対する感性を高め、幼児の感性をも豊かに育てるための表現力を身につけ、保育現場に即応できる実践力を養い高める。</p> <p>担当者別のグループに分かれて、個人レッスン及びグループレッスンを行い、下記の内容を毎時間総合的に学ぶ。曲目は、実技進度に応じて選曲する。</p>			
<p>【全体の授業計画・内容】</p> <p>1. ガイダンス、夏休みの課題テスト、クラス分け 事前学修課題:シラバスを熟読し、ピアノ奏法に関心を持つ。【0.5 時間】 事後学修課題:課題曲を練習する。【0.5 時間】</p> <p>2. 楽曲演奏1(指の練習のために) 事前学修課題:本時のための課題曲を練習する。【0.5 時間】 事後学修課題:課題曲を復習して習熟する。【0.5 時間】</p> <p>3. 楽曲演奏2(伴奏の練習のために) 事前学修課題:本時のための課題曲を練習する。【0.5 時間】 事後学修課題:課題曲を復習して習熟する。【0.5 時間】</p> <p>4. 楽曲演奏3(表情豊かな演奏のために) 事前学修課題:本時のための課題曲を練習する。【0.5 時間】 事後学修課題:課題曲を復習して習熟する。【0.5 時間】</p> <p>5. 楽曲演奏4(レパートリーを増やすために) 事前学修課題:本時のための課題曲を練習する。【0.5 時間】 事後学修課題:課題曲を復習して習熟する。【0.5 時間】</p> <p>6. ピアノ奏法の応用1(いろいろな和音)</p>			

<p>事前学修課題:本時のための課題曲を練習する。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題:課題曲を復習して習熟する。【0.5 時間】</p>
<p>7. ピアノ奏法の応用2(いろいろなリズム)</p> <p>事前学修課題:本時のための課題曲を練習する。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題:課題曲を復習して習熟する。【0.5 時間】</p>
<p>8. ピアノ奏法の応用3(いろいろな拍子)</p> <p>事前学修課題:本時のための課題曲を練習する。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題:課題曲を復習して習熟する。【0.5 時間】</p>
<p>9. 音楽理論1(いろいろなリズム、拍子)</p> <p>事前学修課題:拍子について復習する。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題:授業内容を復習してリズム・拍子について理解を深める。【0.5 時間】</p>
<p>10. 音楽理論2(いろいろな音楽用語)</p> <p>事前学修課題:音楽用語について復習する。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題:授業内容を復習して音楽用語について理解を深める。【0.5 時間】</p>
<p>11. ソルフェージュ(視唱・視奏の応用)</p> <p>事前学修課題:ドレミ唱の練習をする。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題:授業でのドレミ唱を復習して習熟する。【0.5 時間】</p>
<p>12. ソルフェージュ(聴唱・聴奏の応用)</p> <p>事前学修課題:ドレミ唱の練習をする。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題:授業でのドレミ唱を復習して習熟する。【0.5 時間】</p>
<p>13. 歌唱(歌唱のレパートリーを増やす)</p> <p>事前学修課題:歌唱の練習をする。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題:授業での歌唱曲を復習して習熟する。【0.5 時間】</p>
<p>14. 歌唱(弾き歌いのレパートリーを増やす)</p> <p>事前学修課題:弾き歌いの練習をする。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題:授業での弾き歌いの曲を復習して習熟する。【0.5 時間】</p>
<p>15. 試験と振り返り</p> <p>事前学修課題:試験の準備学習をする。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題:試験の振り返りから更に楽曲を習熟してレパートリーを増やす。【0.5 時間】</p>
<p>【学習のあり方】</p> <p>課題曲を各自習熟して授業に臨むこと。意欲をもって積極的に学ぶこと。常に復習をしてレパートリーを増やすこと。</p>
<p>【成績評価】</p> <p>平常試験(40%)、課題達成・授業内習熟度(50%)、学習態度・学習意欲(10%)</p> <p>上記3項目のそれぞれ 60%以上の点数取得が合格条件。</p>
<p>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</p> <p>小テストやレポートには適宜コメントを記入或いは説明・指導をして返却する。</p>
<p>【テキスト】</p> <p>授業内に進度に応じて配布する。</p> <p>テキスト(教材)を忘れた場合にはレッスンは聴講となる。</p>
<p>【参考文献】</p> <p>『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』、『小学校音楽科学 習指導要領』</p>

その他授業内に実技進度に応じて紹介する。

【実務経験の有無】

無